

おおさかりくち へんせん 大阪陸地の変遷

まん ぜん まんねんまえ
2万3千～2万年前



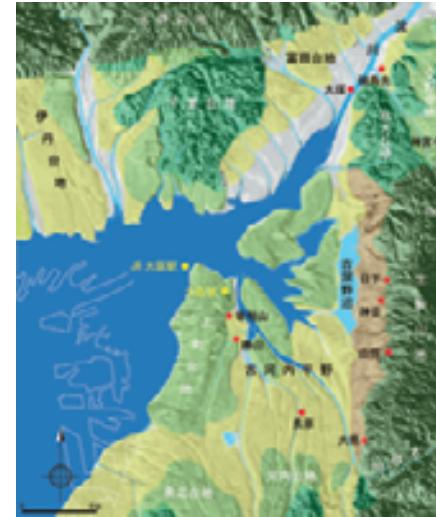
かいきん き おん いま ど ひく
平均気温が今より6～8度も低いとても
さむ じ だい かいめん いま
寒い時代で、海面は今より100mあまり
ひく おおさかわん せ とないかい ひあ
低かったので、大阪湾や瀬戸内海は干上
がっていました。

まん せんねんまえ
1万2千年前



さむ じ だい お ゆき こおり かい
寒い時代が終わり、雪や氷がとけて海
めん すこ たか かいがんせん
面が少しずつ高くなるころには、海岸線
いま おおさかえき
が今のJR大阪駅のあたりになっていました。
した。

やく せんねんまえ
約9千年前



かいめん いま ひく
海面が今より15mほど低いところまで
じょうしう うえまちだいち い こまさんち
上昇しました。上町台地や生駒山地の
にし たに あいだ うみ はい こ
西の谷の間にも海が入り込んでいました。

やく せん ひやくねんまえ
約5千5百年前



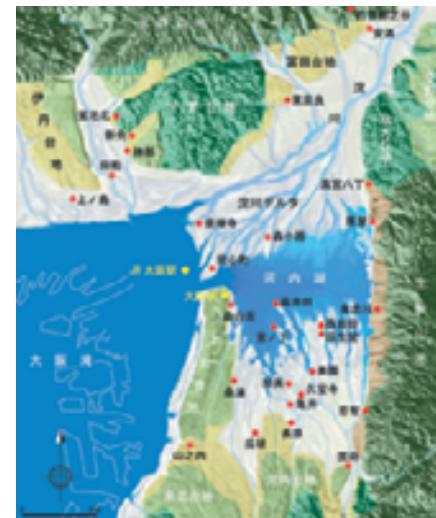
かいめん たか かわ ち わん う
海面がどんどん高くなり河内湾と呼ば
うちうみ おお
れる内海がもっとも大きくなりました。
うえまちだいち おおさかわん めん
上町台地は大阪湾に面していた海岸が波
かいがん なみ
でけずられて細長い半島になり、住吉区
にし おおさかわん
のすぐ西まで大阪湾がせまっていました。

やく せんねんまえ
約5千年前



よどがわ かわ ち わん きたがわ う
淀川は河内湾の北側を埋めたてていき、
やまと がわ みなみ りくち ひろ
大和川も南から陸地を広げていきました。
かわ ち まん う
そのため、河内湾はしだいに小さくなり
はじめました。

やく せん ひやくねんまえ
約2千1百年前



うえまちだいち きたがわ うみ なみ ふ
上町台地の北側の海には、波で吹き寄
よどがわ はこ すな
せられたり、淀川により運ばれてきた砂や
いし かわ ち わん で ぐち
石ころがたまつて河内湾の出口がせまくな
かわ ち わん たんすい かわ ち こ
なったため、河内湾は淡水の河内湖になりました。